

ライフライン防災・減災技術の高度化と体系的活用検討小委員会

活動報告

令和4年6月 土木学会地震工学委員会

概要: ライフラインのレジリエンス向上策および情報技術の高度化と横断的・体系的活用に関する研究活動を行うこととし、以下の検討・活動を進める。

- (1) ライフラインの防災・減災技術の最新動向調査
- (2) 災害対応時の情報ニーズを踏まえた情報技術の評価と体系的活用
- (3) ライフラインの脆弱性評価技術および強化技術の高度化
- (4) 最新の研究成果に関するシンポジウムの開催

期間: 2019年9月～2023年3月(3年8ヶ月)

経緯:

相互連関を考慮したライフライン減災対策に関する研究小委員会(2008.9～2011.3)

委員長:千葉大学 山崎教授

ライフラインの地震時相互連関を考慮した都市機能防護戦略に関する研究小委員会(2011.5～2015.3)

委員長:岐阜大学 能島教授

ライフラインに係わる都市減災対策技術の高度化に関する研究小委員会(2015.9～2019.3)

委員長:筑波大学 庄司准教授, 東洋大学 鈴木教授

(所属・役職等は当時のもの)

この間、インフラ・ライフライン減災対策シンポジウムを12回開催

委員数： 31名(R3年度末)

◆ 委員長 小野祐輔(鳥取大学) : R2年度まで片岡正次郎委員長

◆ 副委員長 丸山喜久(千葉大学)

◆ 幹事長 奥津大(NTT)

◆ 委員 井上修作(竹中工務店)

(50音順) 岩田直泰(鉄道総研)

片岡正次郎(国総研)

北川夏樹(東邦ガス)

北原武嗣(関東学院大学)

鍬田泰子(神戸大学)

庄司学(筑波大学)

鈴木博人(東日本旅客鉄道)

高浜勉(構造計画研究所)

中尾吉宏(国総研)

長山智則(東京大学)

古川愛子(京都大学)

宮島昌克(金沢大学)

山田岳峰(鹿島建設)

猪股渉(東京ガス)

梶田幸秀(九州大学)

金子正吾(クボタ)

北野哲司(東邦ガス)

清野純史(京都大学)

朱牟田善治(神奈川大学)

鈴木崇伸(東洋大学)

副島紀代(大林組)

塚本博之(エイ卜日本技術開発)

永田茂(防災科研)

能島暢呂(岐阜大学)

本多正和(高速道路総合技研)

山崎文雄(防災科研)

山本泰幹(首都高速道路技術C)

令和3年度活動状況

1) 委員会活動

- ・第1回委員会:6/11 オンライン 23名参加

災害時のライフラインへの影響の相互連関に関する話題提供及び討議

話題提供:山崎委員, 能島委員, 片岡委員

- ・第2回委員会:9/15 オンライン 25名参加

インフラ・レジリエンスに関する日米の取り組み等話題提供及び討議

話題提供:

東京大学 本田利器先生

「JSCE-ASCE Special Research Committee on Infrastructure Resilience の活動紹介」

JR東日本 鈴木(博)委員

「鉄道分野の地震対策」

- ・第3回委員会:1/7 オンライン 25名参加

シンポ実施報告,次年度活動討議

2) 行事・出版物

- ・第12回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム(1/7オンライン)

共催: 防災・減災への AI・IoT技術の利活用に関する研究小委員会

参加90名、発表32件

- ・第12回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集を発行

3) 活動補助費決算 配分額: 50,000円→全額返還 (コロナによる活動計画の変更のため)

令和4年度活動計画

- (1) ライフラインの防災・減災技術の最新動向調査
- (2) 災害対応時の情報ニーズを踏まえた情報技術の評価と体系的活用
- (3) ライフラインの脆弱性評価技術および強化技術の高度化
- (4) 最新の研究成果に関するシンポジウムの開催

+ 相互連関

1) 委員会活動

- ・委員会を3回開催予定
- ・その他, 適宜メール審議を進める

2) 行事・出版物

- ・第13回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム(1月予定)
- ・第13回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集